

平成23年度 PTA事業報告

1 定例活動

- (1) 総会
  - 4月29日(祝)
- (2) 役員会
 

新旧役員会	4月19日(火)	第1回	4月29日(祝)
	第2回	7月1日(金)	第3回 9月5日(月)
	第4回	10月27日(木)	第5回 12月9日(金)
	第6回	2月23日(木)	



2 事業・活動

- (1) 社会見学
  - 2月8日(水) … 友禅染体験、株式会社かんぼ生命保険見学他
- (2) 会報「ふれあい」発行
 

第1号	6月10日(金)	第3号	12月20日(火)
第2号	8月26日(金)	第4号	3月7日(水)
- (3) 学校行事等への参加
 

4月11日(月)	入学式
7月1日(金)	通学路清掃(雨天中止)
7月5日(火)	学校保健会議
8月19日(金)	夏季部活動支援
9月5日(月)	グラウンド整備(猛暑中止)
9月23日(祝)	体育大会
11月3日(祝)	学習発表会・バザー
12月9日(金)	通学高等部持久走大会 企画(楽しい手芸; 前PTA役員)
3月9日(金)	卒業式・新企画(講話; 旧PTA会長)
- (4) 親と子と先生の集い
 

重心教育部	6月19日(日)
病弱教育部	7月15日(金)・2月24日(金)
通学高等部	3月9日(金)
- (5) その他(各種研修会等への参加)
 

5/20(金)	近畿・東海・北陸病弱虚弱教育研究連盟並びにPTA連合会第1回合同理事会
6/9(木)	京都府立学校PTA連合総会
6/11(土)	京都府立学校PTA連合会南山城ブロック第1回会長校長会
7/1(金)	PTA新旧役員懇親会
7/2(土)	近畿地区高等学校PTA連合会大会滋賀大会
7/12(火)	府PTA指導者中央研修会
8/8(月)	京都府立学校PTA連合会南山城ブロック第2回会長校長会
9/7(水)	京都府立学校PTA連合会第1回特別支援学校部会
9/24(金)	京都府立学校PTA連合会南山城ブロック第3回会長校長会
11/10(木)	全国・近畿病弱虚弱教育研究連盟研究発表会和歌山大会
11/25(金)	PTA O B 会総会・懇談会
11/26(土)	京都府立学校PTA連合会南山城ブロック指導者研修会
12/2(金)	南山城支援学校校区PTAとの交流会
1/20(金)	近畿・東海・北陸病弱虚弱教育研究連盟並びにPTA連合会第2回合同理事会並びに講演会
2/17(金)	京都府立学校PTA連合会南山城ブロック第4回会長校長会



京都府立城陽支援学校 P T A 広報

第 4 号

発行日 平成24年3月8日

ふれあい

「一年間を振り返って」

PTA会長 吉田 紀子

まず始めに、今年一年間お世話になりました役員の皆様、担当の先生方、並びに会員の皆様ありがとうございました。

四月に『会長を』とお話をいただいた時には、『一度はお断りいたしました。最終的には『私ではお断りいたしました。不安いづばいの中スタートしましたが、何とか終える事ができました。』

本年度は三月に東日本大震災があり、PTAの活動といたしましたが、被災地に文具を送ることから始めました。ボランティアで現地に行ける先生に持って行っていただきましたが、『子どもたちの笑顔が忘れられない』とお言葉をいただき、継続して支援していただければ…と思います。

通学路清掃、グラウンドの草引きは雨天のため、中止になりましたが、他の行事は無事終える事ができました。特に部活支援のカレーライス作りにはたくさん保護者の方々に参加していただき、夏の暑い中、大量のカレーを作ってくださいました。昨年度は猛暑の為、食が進まなかったようでしたが、本年度はお代りの列が出来、炊飯が間に合わなくらい、大盛況におわかりました。本年度より『通高では三年間に一回は役員を』という事で、お願いしましたが、まだまだ改善していかなくてはいけない点が多々あり、ご迷惑をおかけして申し訳なく思っております。

会長という役割は、確かに大変ではありますが、皆様のお力添えのおかげで、やりとげる事ができましたし、四月に想像していた時よりも、実際にやってみると、自分自身の成長にもつながったと思います。

一年間を振り返って

平成二十三年度を振り返って

校長 渡部 浩三

支援学校に校名変更しスタートしてから約一年になり、卒業生を送り出す締めくくりの時期となりました。

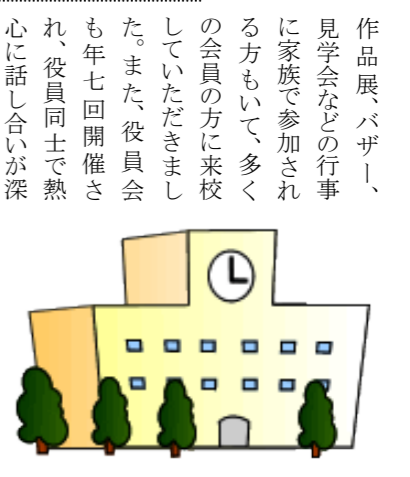
三月九日に通学高等部三年生二〇名に卒業証書を授与します。

保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。心からのお祝いとこれまでのご苦労に対して感謝を申し上げます。

卒業は本校の三年間の教育課程を修了した出口としての節目であり、社会の入り口として新たな旅立ちとなる節目でもあります。卒業する一人一人が新しい道を希望を持って歩み、新しい自分を発見してほしいと願っています。

さて、今年度のPTAの取組にご参加いただきました会員の皆様方、企画運営面でお世話になりました役員の皆様方、一年間学校教育へのご協力ご支援と併せて感謝申し上げます。

三つの異なる教育部門を有する本校の校長から、PTA事業への参加が少なく保護者同士が交流する機会も少ないという状況があります。通学高等部については昨年より三年間で一回以上役員をするようにしていただき、年間の各事業への参加希望を募り事業への意識を高めたり、企画事業ではOB会員に講師としてご協力をいただくなどの工夫を行ってきました。その成果があつてか、事業への参加者も増えお互いが親睦を図る機会も増えてきたように思います。総会、授業参観、



作品展、バザー、見学会などの行事に家族で参加される方もいて、多くの会員の方に来校していただきました。また、役員会も年七回開催され、役員同士で熱心に話し合いが深められ、対外的な事業にも積極的に参加いただきました。

また、『東日本大震災に遭われた子ども達に支援を！』とPTA会計よりノートや鉛筆等の文具を購入し、支援物資として福島県へ支援チームとして派遣した本校職員に託し、復興を願う気持ちとともに被災地のごども達に届けました。受け取った小学生はとても喜んでいました。

特別支援教育に移行してほぼ五年。昨年の八月に障害者基本法の一部が改正されました。障害者の定義が見直されるとともに、教育についても、次のような方向性が示されています。『障害者がその年齢及び能力に応じ、かつ、その特性を踏まえた及び障害の状態に応じ、十分な教育が受けられるようにするため、可能な限り障害者である児童及び生徒が障害者でない児童及び生徒と共に教育を受けられるよう配慮しつつ教育の内容及び方法の改善及び充実を図る等必要な施策を講じなければならぬ。』今後、このことが施策として具体化されていきます。学校卒業後の出口の状況は年々厳しいものになっていきます。保護者の安心につながるような施策が講じられるよう期待したいものです。

### 教育長表彰を受けました！

さる、2月27日、京都府庁にて本年度目覚ましい活躍をした府下の支援学校生徒が教育長により表彰されました。本校からは下の3名の生徒が表彰されましたが、それぞれの頑張りに一人ひとり教育長より声をかけていただき、メダル・楯をいただきました。



生徒も今回の頑張りを今後の生活に生かすよう、決意を新たにしていました。おめでとうございます！

<b>山田健太君</b>	全国大会 陸上	<b>800m 3位</b>
		<b>400m 4位</b>
<b>濱田真帆さん</b>	全国大会水泳自由形	<b>25m 1位</b>
	自由形	<b>50m 1位</b>
<b>大森翔馬君</b>	ワープロ実務検定	<b>1級</b>

### 保健室から

東日本大震災が起きて1年が経とうとしています。「家族」とか「絆」がキーワードになった1年でした。最近強く思うことがあります。それは「中学生の時期くらいまでは、安定した家庭環境を子ども達に保障してあげたい」と言うことです。

経済的に豊かで、欲しいものが得られたり、物質的な環境が整っているか、ということではありません。

家に帰れば「お帰り」と言ってくれて「この子が大事、この子が可愛い」と心底思ってくれる人がいる。何があっても味方になって寄り添ってくれる人がいる。

そういう環境があれば子どもはどどんたくましく育っていく気がします。

高校生になればそういう素地があれば「自力」で自分の人生や生き方を選んでいく力がつきます。が、小・中学生時代の環境が過酷過ぎると「自力」の力がつきにくいのです。

ある講演のなかの話です。不登校だった子どもが外の世界に出るきっかけとなったのが、近所のおばさんの「いつも頑張ってるな。えらいなあ」の一言だったと言います。

誰かが自分のことを見ていてくれた。自分の存在を認めてくれていた。その事が彼が再び外の世界に出るための背中を押してくれた。

子どもの廻りの大人がそれぞれの所でそれぞれの個性でそれぞれのやり方で子ども達を見守り支えていく。そういうことが今必要とされているのだと強く感じています。

養護教諭 四方 圭子

### 中学部2年生『職場体験学習』の取組

病弱教育部では中学部2年生が「総合的な学習の時間」に地域の商店や事業所、民間企業、公的施設等の職場で仕事を体験する学習を例年行っています。今年度は2月14日(火)JR山城青谷駅前スーパー山田屋さんにご協力をいただき『職場体験学習』を実施しました。

実習の3週間前から学習のねらいや挨拶返事等のマナー、当日の活動内容、個人目標や注意点について充分時間をかけて事前学習を行いました。

前日には体調不良で早退したこともあり心配をしましたが、当日の朝、病院廊下で顔を合わせた時「今日どうするの?」「行きます!」のやりとりでその心配はすぐに解消されました。

会社へ到着して朝礼に参加し大勢の従業員の方の前での自己紹介で学習がスタートしました。午前中は農産部門で野菜の袋詰めをしました。緊張や慣れない仕事で量も多く、少し疲れたようでした。

お昼ご飯を食べ、午後からは気を取り直して野菜の袋詰めと鮮魚部門に移動してちりめんじゃこを40gずつ計測し、パックに詰める作業にチャレンジしました。



体には疲れを少し感じながらもとても充実した一日を過ごすことができました。

#### 感想文より(抜粋)

野菜の量が多く終わると体の節々がいたかった。でも私は単純作業が意外と好きなのでそれほど苦痛ではなかった。集中していたので時間がたつのがとても早く感じられた。

### 重心教育部と青谷小学校との「交流及び共同学習」

1月26日(木)の午後、毎年恒例となっている、城陽市立青谷小学校「うめの実学級」と重心教育部Bグループとの交流及び共同学習がありました。雪のちらつく寒い日でしたが、「うめの実学級」の子ども達3人と担任の先生が来校して下さり、重心教育部Bグループの5人も全員元気にそろうことができました。

会場のプレイルームに集まると、まず、オープニングで、「うめの実学級」からは、『あしたを夢見て』という手話つきの歌の発表がありました。

Bグループは、秋の学習発表会のステージ発表で歌った『ぼくらの黄色い潜水艦』の歌を披露しました。プレイルームいっぱいには張ってある幕に描かれた大きな『黄色い潜水艦』に、ペアごとに交代で乗り込み、潜水艦の窓から一緒に外をのぞいたり、窓越しに顔を合わせたりして、楽しく過ごすことができました。



#### お知らせ

本校に隣接する 独立行政法人国立病院機構京都病院内の新病棟が完成されました。3月2日(金)3日(土)には、本校重心教育部、病弱教育部の児童生徒も、新しい病棟へそれぞれ移動しました。5階建ての新病棟は、とても明るく広く新鮮で、病院関係者の皆様の御協力のもと、新しい環境での入院生活や病棟内授業がそれぞれに始まっています。

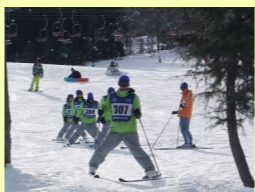
### 「修学旅行の感想」

通学高等部二年 宮川 千晶



私はこの修学旅行で初めて中心になる役割をしました。上手く皆の事をまとめられるかすごく不安だったけど、他の実行委員の皆や先生達が協力して皆をまとめることが出来ました。列車での移動は友達としゃべったり、お菓子を食べたりと楽しかったです。スキーでは最初、なかなか上手く出来なくて少しビビりました。でも、二日目三日目とインストラクターさんに教えてもらったら、怖いという感情が消えてきて、三日目なんか上手に曲がるようになったり、スピードをコントロール出来るようになりました。まとめ発表会の時でも一人で行けるようになりました。

この修学旅行では実行委員をやってみて少し自分に自信ができました。この経験を生かして就職目指して頑張りたいです。



一年生の時は、そういうことを感じながら生徒会でやっていました。二年になって二年目の生徒会は、先輩がいなくなっただけじゃなくて周りで支えてくれる先生や友達と一緒に盛り上げてくれるみんなの力があってやっと一つの行事が成功している事も知りました。一年生の時は、そういうことを感じながら生徒会でやっていました。二年になって二年目の生徒会は、先輩がいなくなっただけじゃなくて周りで支えてくれる先生や友達と一緒に盛り上げてくれるみんなの力があってやっと一つの行事が成功している事も知りました。



### 「保護者の声」

通学高等部三年保護者 武森 紫織

入学して三年、早くも卒業の日を迎えることになりました。一年生の頃、作業学習では多日は「こんなことをしたよ」と意欲に満ちた笑顔で話してくれ、先生にほめてもらったら嬉しそうにしていたことが振り返られます。二年生になり、現場実習にも一人で行くことになり、本人よりもこちらがドキドキでしたが、初日、帰ってきた娘が緊張したけど、「一日がんばれた」と話す顔にたくましさを感じました。三年生になれば卒業後の進路を見据え、自分の将来について真剣に考え取り組む姿に頼もしさを感じ、ついに内定をいただいた時には、本当にがんばった娘を誇りに思いました。親は後方支援しかできなかったけれど、三年間見事にやり抜いた娘がいよいよ社会に出る時が来ました。いつでもどんなときでもそばに居て見守り応援しているから、これからの人生安心して自分の力を発揮し、美しい花を咲かせて欲しいと願っています。

